

誌上学習会 1月号 自宅学習のすすめ 24

テーマは「水分補給」です。

残暑厳しい9月の朝、ヘルパーが利用者宅を訪れた場面での会話です。

会話文

ヘルパー:おはようございます。体調はいかがですか？

利用者:気分が悪い。

ヘルパー:どんな具合ですか？ ①

利用者 :めまいがする。

ヘルパー:朝の薬は飲めましたか？

利用者 :飲んでいない。朝食も食べていない。

ヘルパー:水分は摂っていますか？

利用者:水は飲んでいない。 ②

昨夜ビールを500ml飲んですぐに寝てしまった。

ヘルパー:熱中症の可能性が高いです。すぐに水を飲みましょう。 ③

利用者 : (水を飲む)

ヘルパー:少し横になって様子を見ていただけますか？ ④

利用者 : (やすむ)

さっきより良くなったよ、ありがとう。

ヘルパー:よかったです。

喉が渴いていなくても、こまめに水分をとって下さいね。 ⑤

☆日本語にとらわれず、会話のキャッチボールを大切にしましょう。

①具合の悪さを質問します。「何？」

②「飲んでいない」首振りだけ。

③可能性が高い。「～かもしれない」

④よく使う言葉です。場面によって対応は変わりますよね。具体的にどんな行動をしていますか？それをどう表現しますか？この場合は横になってしばらく休んでいてくださいと表現していますね。

⑤こまめに「きっちり」

☆おまけ動画

「水分とった？」「うん、ビール飲んだよ」というやり取りをお楽しみください。

【2022年10月号通信に掲載した会話文より】